

(17) 大学評価委員会**① 設置の趣旨（目的）及び組織****ア 組織設置の趣旨（目的）**

大学評価委員会は、本法人の組織・運営の状況及び教育研究活動等の状況について自己点検及び評価等を行うことを目的として設置されている。

イ 組織の構成及び構成員等

大学評価委員会は、評価担当の副学長を委員長として、学校教育実践研究センター長、各学系及び専攻から選出された教授又は准教授（講師及び助教を含む。）、学長が指名した附属学校長、事務局長及びその他学長が指名した者若干人で組織されており、令和2年度は計12人の構成とした。

② 運営・活動の状況**ア 委員会等の開催状況**

令和2年度においては、以下のとおり3回開催した。

- ・ 第101回 令和2年4月10日（金）
- ・ 第102回（書面審議） 令和2年6月1日（月）から6月5日（金）
- ・ 第103回 令和3年3月4日（木）

イ 審議された主な事項

令和2年度は、主に以下の事項について審議した。

- i) 平成31事業年度及び第3期中期目標期間（4年目終了時）の業務実績に関する評価の受審
- ii) 教職大学院認証評価の受審
- iii) 令和元年度における各教員の教育・研究活動及び社会との連携に関する自己点検・評価の実施
- iv) 「本学評価基準」による自己点検・評価の実施
- v) 令和3年度に係る学内自己点検・評価実施計画

ウ 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

令和2年度は、平成31事業年度及び第3期中期目標期間（4年目終了時）の業務実績に関する報告書の取りまとめ及び教職大学院認証評価の自己評価書の作成について重点的に取り組んだ。

③ 優れた点及び今後の検討課題等

令和2年度は、前述のとおり、平成31事業年度及び第3期中期目標期間（4年目終了時）の業務実績に関する報告書や教職大学院認証評価の自己評価書の作成に適切に取り組んだ。平成31事業年度及び第3期中期目標期間（4年目終了時）の評価においては、社会貢献及び地域に関する目標について「中期目標の達成に向けて計画以上の進捗状況にある」と評価され、それ以外の目標についても「中期目標の達成に向けて順調に進んでいる」と評価された。また、教職大学院認証評価においては教員養成評価機構の教職大学院評価基準に適合していると認定された。

今後、これらの評価結果を踏まえ、改善に向けた取り組みを行う必要がある。